

学校通信
ひがしやま 第41号

発行日 令和7年11月4日（火曜日）
 発行者 別府市立東山幼稚園
 別府市立東山小学校
 別府市立東山中学校
 校（園）長 谷川 芳明

○2024 年度問題行動・不登校調査結果公表について

・不登校の児童生徒数は、コロナ禍を経て増加傾向がさらに加速、不登校児童生徒は12年連続で増加。全体の3.9% (26人に1人) で、35万3,970人。小学生は44人に1人、中学生は15人に1人の割合。文部科学省は、不登校対策のさらなる拡充を企図し「COCOLO プラン」を発表。「誰一人取り残すことのない学びの保障」を実現するために三つの柱を設定。

①不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。
②心の小さな SOS を見逃さず、「チーム学校」で支援③学校を「みんなが安心して学べる」場所にするために、「学びの多様化学校」「校内教育支援センター」の増設やFSなど民間の諸機関との連携などの取組を推進することとしています。

[illegible]

○志高湖へなかよし遠足（10/29）



グループごとに、
環境美化のために
ごみ拾いを実施。

今年、APUの学生さんに教えてもらった「ヤギとトラ」のゲームなどで、楽しく遊んで、友だちとの関係をより深めることができたと思います。

・東山っ子会議で、1年生から要望があった「遠足」について、児童会が企画、立案しました。日程や内容、進行のシナリオは、子どもたちが策定。出発前に全校児童を前に、児童会長が遠足の目的を発表①環境美化②友だちとの関係を深める。現地で、ごみを集めた後の感想発表では、「思った以上に、ごみが少ないことに気づいたと思う。志高湖の環境を大切にしようとする人たちがいて、いつもきれいにしてくれていることがわかる」との発言。

解散式では、会長、副会長が「目的は達成できましたか?」「僕たちは、あと少しで中学生になる。今度は皆さんの番です。あとに続いてほしい」最後に6年生に対して、それぞれがお礼を伝えました。

集約した感想には、「みんなと仲良くなれた」「地域をきれいにできた」「みんなが目的を大切にしてくれた」「東山っ子会議があってよかった」「指示を聞いてくれたから6年生は楽でした」「次は5年生が計画してくれる」「6年生、校長先生を説得してくれありがとう」etc